

大津小 としょかんだより

# もいのなか

2011. 4. 22

(全校用) わからないじは おうちのひとに よんでもらいましょう。

何か楽しいことがあるかも……

大津小としょかんは、どきどきわくわくのもいのなか

## 『うちどく』をしよう

今年も **あんどーなつ** を合い言葉に、**どくしょ** を進んでする子を目指していきます。読書は人間として生きていく上で大切な力（豊かな心、物事を見る目、感情をコントロールする力、会話する力、表現する力、判断する力など）を育てていくために、欠かせません。学校でも、家でも読書をする習慣がつくといいですね。昨年度に引き続き、毎月一回（土曜日、日曜日）『うちどくの日』を設けました。この日は、家族で読書をし、家族で本についてたくさん語り合ってください。小学生のこの時期だからこそ、家族とのふれあいを通して、豊かな心を育てていってほしいと思います。家族読書の方法例を参考にして、たのしい『うちどく』に取り組んでみてください。

## 『うちどく』の日の取り組み方

☆うちどくには、いろいろなやり方があります。いずれにしても、**家族みんなが読書する時間を共有し、読書したくなる環境を作ることが大切です。**

### 1 まず、うちどくをしよう。

○家の人に読み聞かせをしていただく。(必ず取り組む)  
読み聞かせは、今年度の重点です。うちどくでは、読み聞かせを中心に、各家庭で工夫して行いましょう。

○次の①から⑤を参考にして、それぞれの家庭で工夫してうちどくに取り組む。

- ①大人から子どもへの読み聞かせ  
読み聞かせをするときには、子どもに目で文字を追わせるとよいそうです。難しい本ではなく、挿絵が魅力的なものや短い物語がいいと思います。読み終えたら、『～がおもしろかったね』などと、感想を口にする、子どもにも気持ちが伝わっていきます。
- ②子どもからうちの人への読み聞かせ
- ③交代読み（1冊の本を交代で読み合う）
- ④役割読み（登場人物を分担して読み合う）
- ⑤一人読み（家族同じ時間、同じ場所でそれぞれが読みたい本を読む。テレビを消して、読書をする環境を作るといいですね。）

### 2 『うちどくの日の詩』を声に出して繰り返し読もう

○うちどくカードの『うちどくに日の詩』を声に出して読みましょう。上手に読めるようになったらいえの人にも聞いていただきましょう。校長先生や担任の先生、職員室や事務室の先生にも聞かせてくださいね。

☆学校図書館の本も持ち帰ることができます。1人2冊まで借りられます。お子さんを通して図書館も利用してください。

☆4月23日(土)は『子ども読書の日』です。学校でも、各クラスの担任が心に残った本について子どもたちに話して聞かせる予定です。

担当  
学校図書館司書教諭  
森下 純子